

福岡大学附属大濠高等学校同窓会会報

「大濠ばい！」みんな繋がる会報誌

# 大濠人

2011  
vol.45

特集1

大濠人徹底解明  
新世代をリードする

- P2 会長の挨拶
- P3 大濠人徹底解明
- P7 OB活躍しています
- P11 支部便り
- P12 大濠の近況
- P14 特集2 新校舎の紹介

# 同窓生「大濠人」の皆さまへ

福岡大学附属大濠高等学校同窓会 第7代会長 川邊 義隆



## Profile

川邊 義隆  
 <かわべ よしたか>  
 6回卒

同窓会の皆様お元気ですか。新しい年を迎えたと思つたら、あつという間に卒業式・入学式の時節となりました。五十八回卒の新しい同窓会員の皆さん、ご卒業おめでとうございます。大濠同窓会は、永い伝統を有しつつも、変化の大きな今の時代を乗り切つて行く為にも、新しい若い力を必要としております。昔の百年は今の十年、今の十年は未来の一年。科学技術の発展は、絶体距離の時間距離を縮め、価格距離と呼べる経済距離は、距離と時間の差が私達の実生活の中で確実に縮まってきている事を感じさせます。

三十年前の日本と比べると相対的に他国の伸長が大きく、韓国・中国・インド等のその勢いは目を見張るものを感じさせます。私達大濠人の拠点福岡は、地理的にも歴史的にもアジアと世界をにらみ、くるべき日本の復活に備えねばなりません。各分野で御活躍の大濠人の皆様、激動の今の時代があるがままに認識し、それぞれの立場でリーダーシップを示すことを通じて、社会の中で大濠人の存在感を現そうではありませんか。同窓会においても役員若返りを実行致します。三十代〜五十代の副会長及び常務理事を多く登用させて頂きました。更には、学校御当局のご理解を得て、同窓会室の解放性を高め、気軽に集まれる交流の場をぜひ作りたいと考えております。ぜひとも同窓会員各位のご理解とご支援を心よりお願い申し上げますとともに、今年一年の同窓会員のご健勝とご繁栄をお祈りし、あいさつとさせて頂きます。

### 第58回福岡大学附属大濠高等学校

## 同窓会総会&懇親会



福岡大学附属大濠高等学校新校舎

平成 5月21日(土)  
 ■日時/23年  
 ■会費 6,000円

■受付17:30 ■総会18:00 ■懇親会18:30  
 ■会場 福岡国際ホール ■総会16F志賀の間  
 TEL 092(712)8855 ■懇親会/16F大ホール

福岡市中央区六本松1丁目12-1 福岡大学附属大濠高等学校内 TEL092(714)1681

## 集え! 全大濠人!

◀ チケットを持って来てください。

尚、当日券もご用意しておりますので、お気軽に足を運んで下さい!!



特に、卯どし(5・17・29・41・53回卒)  
 17回卒 還暦を祝おう!

今年卒業回数8のつく回卒が周年記念の年です。  
 総会でまっと一ぱい!

飲んだら乗るな!  
 乗るなら飲むな!!

飲酒運転追放  
 キャンペーン

大濠同窓会は飲酒運転を決して許しません。

### 20代のみなさんへ



新たな友人をつくる機会と思つて同窓会に参加されませんか?!

前田 司  
 (53回卒)

### 30代のみなさんへ



大濠高校同窓の素晴らしい仲間と先生、先輩、後輩たちと新しい発見ができる年に一度の機会です。是非ふるってご参加の程、宜しく願いいたします。

房前 友章  
 (37回卒)

### 40代のみなさんへ



40歳代の大濠生諸君。同級生は懐かしいし、頼れるぞ。総会は旧友を深める絶好の機会!



須藤 英一郎  
 (29回卒)



# 大濠人徹底解明



井尻 靖彦



浦田樹一郎



大石 達也

「質実剛健・明朗闊達・文武両道」の大濠スピリッツを今でも大切にし、  
社会で活躍されている方々を紹介していきます。

おおほりじん【大濠人】①福岡大学附属大濠高等学校を卒業した者。 ②質実剛健・文武両道をモットーに社会で活躍し、母校を応援する者。



**Profile**  
**大石 達也** <おおいしたつや>  
 54回卒  
 プロ野球選手 埼玉西武ライオンズ

**夢に向かって、努力して、感謝の心を忘れずに頑張る**

大石達也投手は高校時代はエースとして活躍。早稲田大学進学後は主にリリーフとして結果を残し、昨年のドラフト会議を経て、2011年から埼玉西武ライオンズのユニフォームに袖を通すこととなり、ニュース、新聞、雑誌など数々のメディアによって大石投手の活躍が報道されてきた。ここでは、「早稲田の大石達也」にスポットを当てて、改めて当時を振り返っていく。

**【早稲田の守護神として活躍】**

2007年春、入部した大石投手の同学年には、甲子園での優勝を経験した斎藤佑樹投手（早実）と福井優也投手（済美）がいた。2人の投手と異なり、甲子園の出場経験もなければ、全国的な知名度もそこまで高くなかった大石投手だったが、1年春の大学選手権からベンチ入りを果たす。さらに、同秋から抑えの切り札として起用されるようになり、『早稲田の守護神』としてマウンドを守り続けた。また、大石投手はどんな状況でも笑顔絶やさず、ブルペンの空気を和ませていたそ

うだ。4年生最後の秋季リーグでは優勝。続く秋の神宮大会でも見事に優勝を果たした大石投手たちは、まさに『有終の美』を飾った。

全国にその名を轟かせたピッチャーが2人もいることは、大石投手自身にとっても、かなりの刺激になったはずだ。最終的には東京六大学リーグでの通算防御率は1.63と非常に素晴らしい成績を残している。大石投手は卒業論文も配球をテーマにしたものを書いた。

そして、結果として3人はそれぞれドラフト1位でプロ野球への入団が決まった。入学当初は風格が違っていたという大石投手だったが、今となっては同じ土俵の上で同じように戦っているの是一目瞭然だ。早稲田では抑えの切り札だったが、先発ローテーション入りとの報道もある。仲間でもありライバルでもある3人の投手の今後には目が離せない。

**【祝!!最多6球団ドラフト1位指名!】**

2010年のドラフト会議にて最多の6球団から1位指名を受けた大石達也投手。抽選の結果、埼玉西武ライオンズへの入団が決まり、2011年からプロ野球選手としての生活がスタートする。

これから日本のプロ野球界での活躍が期待される大石投手にいくつかの質問に答えてもらった。



同窓会役員の皆さんと

〈大石投手の 一問一答〉

高校編

Q 高校時代最も印象に残った試合はありますか？  
 A 最後の試合となった3年夏の県大会予選の福岡第一戦です。非常に悔が残る負け方でした…。

Q 高校時代の思い出について教えてください。  
 A 体育祭や文化祭など!!

Q 男女共学化についてもうちょっと早くしてほしいから…(笑)  
 A 苦手な教科はありましたか？  
 A 体育以外苦手でしたよ。

Q 怖い先生は？  
 A いましたね〜！でも言えません(笑)

大学編

Q 大学生活と高校生活の違いは？  
 A 高校の時よりも、野球に集中できる環境でした。

Q 練習が休みのときはどうやって過ごしていましたか？  
 A 休みのときに大学に行っていましたね。授業に出ないと単位が取れないので…(汗)

Q 趣味は何ですか？  
 A 音楽を聴くことです。邦楽、洋楽問わずオールジャンル聴いています！

Q 早稲田という伝統ある大学で野球をするにあたって何か「伝統の重み」を感じたことはありますか？  
 A 早稲田と慶應の選抜メンバーでブラジル遠征を行ったとき、50年前にもブラジル遠征を行った先輩方が残した記念碑を見たときに伝統を実感しましたね。

プロ編  
 Q 6球団から1位指名された時の心境は？  
 A 素直にうれしかったです！

Q プロでの目標を教えてください。  
 A やっぱり、開幕一軍ですね。今はそのことを考えて頑張っています。

Q 憧れの野球選手はいますか？  
 A 福岡ソフトバンクの斎藤和己投手です。

etc  
 Q 好きな言葉や座右の銘があれば教えてください。  
 A 「夢・努力・感謝」です。

Q 後輩たちにメッセージがあればお願いします。  
 A 先ほどと重なってしまいましたが、『夢に向かって、努力して、感謝の心を忘れず、頑張ってください』

Q 大石投手にとって野球とは何ですか？  
 A 自分から野球を取ったら何も残らないので…全てです(笑)

取材中、大石投手の目は終始輝いて見えた。まさに、これからの飛躍を予感させるようなオーラを感じた。  
 福大大濠高校、早稲田大学という伝統ある学校で鍛え上げた実力をもって、近い将来プロの世界でも「大投手」になる日が必ずやってくるだろう。





## Profile

浦田 樹一郎 <うらた きいちろう>  
33 回卒  
日本マイクロソフト株式会社業務執行役員  
ホーム&エンターテインメント事業本部  
ゲームコンテンツ推進部 部長

## ビル・ゲイツ賞受賞の原動力は 小さな自己実現の積み重ね

大濠人ならご存知でしょう。コンピュータ・ソフトウェア業界の巨人・マイクロソフト。そこで私は家庭用ゲーム機「Xbox 360」対応ゲームコンテンツの戦略を担当し、米国本社と日本のゲーム会社をつなぐかけ橋という重責を担っております。2009年7月、米国アトランタで開催された全社員総会にて、人生最大の歓喜を味わいました。全世界9万5千人の社員のうち年間10数名しか与えられない最高の名誉、「ビル・ゲイツ賞（会長賞）」の授賞式で私の名前が発表されたのです。受賞式後のディナーではCEO（最高経営責任者）のステイブ・バルマーの隣の席になり、受賞に至る経緯など、直接賞賛の言葉を掛けられ夢のような一時を過ごしました。

マイクロソフトがホームエンターテインメント事業に本格参入したのが今から約10年前。その立ち上げ時、事業の軸となる家庭用ゲーム機「Xbox 360」の対応ゲームコンテンツの獲得のためにマイクロソフト社に入社しました。当時の日本のゲーム業界は「ゲーム王国」と呼ばれるほどの活気。その雄で

ある任天堂やソニーと比べて、外資系企業の新規参入は厳しく、来る日も来る日もゲーム会社への営業は門前払いの日々。新しい事業で導いてくれる人もいなく何もわからない状態の中、大手ゲーム会社の重役の方から食事のお誘いが。緊張と不安でお店に行くと、門前払いが続く中でも数ヶ月間日参しているのをずっと見守っていたとの事。その日からその方との定期的な食事会が始まり、業界の歴史、市場の現状、今後の展望など、様々な事を教えていただき、次第に他のゲーム業界のキーパーソンとの信頼関係、強い「絆」ができていきました。そうしてマイクロソフトがゲームビジネスに参入して以来の念願の目標、「ゲーム王国である日本から数多くのコンテンツを獲得し世界市場へ送り出す」事を達成できました。

甲子園球児だった父の下、野球一筋で育つてきながら高校時代には退部、目標を見失いました。なんとか一念発起して掴んだ大学生活もサーフィンに明け暮れる日々。海外生活を経て念願かなって外資系航空会社に就職するも配属はクレーム処理。10代、20代はずっと自分探しの日々でした。そんな中、海外でのサーフィンや外資系企業での人脈を通じて少しずつ「グローバルリーダーになる」という人生観、仕事観が芽生えてきました。30歳で直属の上司が米国人になったのを機に一念発起、週末の全てを英語で経営学を習得する時間に当てました。結婚して子供ができ一番家族との時間を大切にしたい時期にこの作業は本当につらい日々でした。しかし将来の成功のイメージを描きそこからプロセスを逆算した時、今絶対にやらないと！

という強い意志を持って取り組むことができ、その自己研鑽した3、4年の月日を経て今の職場へとたどり着きました。

「グローバルリーダー」として今意識している事は国際的視野をもち、多様な文化を理解しながらのコミュニケーションです。大濠人の若い世代の方々にも是非、色々な人（タイプ、人種、男女、年齢）としつかりコミュニケーションを取りながら物事を進める事が出来る人になってほしいな、と思います。そのためにはほとんど海外に出て異文化を経験する事をお勧めします。未熟な自分が異国の地で経験した様々な失敗が原動力となり、今の自分を形成していると感じます。将来はスポーツやゲーム、音楽など何らかのエンターテイメントにて、「人々のライフスタイルを変えるぐらいの面白いエ

ンターテイメント」を世の中に提供したいと思つてます。

若い大濠人の中には「海外に出ない、壮大な夢もない。」という方もいらっしゃるでしょう。心配する事はありません。昨日より今日の自分、今日より明日の自分というように小さな自己実現の積み重ねが将来の成長につながります。日々少しずつ努力する事から始め、そして何かを思い立った時、是非この言葉で自分を奮い立たせて下さい。  
Never too late!  
Never give up!

### <浦田さんから大濠人の皆さんへ>

チームや組織をリードしていく上で、グローバルリーダーとして大切なのはとてもとても基本的な事だと改めて気づかされました。

心に残った言葉をそのまま列挙させていただきます。大濠人ならきっと理解していただけたと思います。



- Do you give more notes?  
Or Do you take more notes?
- Keep your ear to the ground
- Over-communicate
- Break down barriers
- Laugh and allow your folks to laugh
- Get everyone involved
- Build loyalty to the company not yourself
- Understands others' poor expressed thoughts and concerns as well as their underlying meanings
- Makes inferences about others that go beyond explicit content and emotion
- Recognizes different values and styles, and respects others "unique" characteristics or strengths

そして私自身がいつも自分に、そして仲間にかけている言葉を掲載させていただきます。

**Are we really fighting to win?  
Are we really doing not for the sake of  
doing well but for the sake of win?**



受賞後の弊社CEO(ステイブ・バルマー：私の向かって左)とエグゼクティブとの記念写真



## Profile

井尻 靖彦 <いじり やすひこ>  
23 回卒  
博報堂九州支社 支社長

## 大濠健児の熱い気持ちは マスコミ界にも溢れています！

### 【博報堂・広告会社の仕事】

私は博報堂に入社以来、大手家電やアルコール飲料などのお得意先を担当し、新製品の市場導入やイベントなどマーケティングやコミュニケーション業務のプロデュースに携わって来ました。広告会社というテレビCMなどを作る会社とわれがちですが、それは業務の一領域に過ぎません。博報堂は広告領域だけではなく、企業のビジネスパートナーとしてマーケティング領域、新商品・事業開発や経営課題領域などにも幅広く課題解決力をご提供しています。若くて優秀な人たちが生き生きと働ける企業風土があり、営業職以外にもマーケティング、媒体、クリエイター、デジタル系スタッフや研究開発・シンクタンク系のブレーンなど幅広い職種の人材が集まって、国内だけでなくグローバルにも活躍しています。現在、私は九州支社長

として九州一円のビジネスを統括させて頂いていますが、生活者発想を大切にして、お得意先へのサービスの質を向上させ、それが地域貢献につながるように努めていきたいと思っています。

### 【マスコミでも活躍する 大濠OB達】

1976年に第23回生として卒業し、早いもので35年が経ちました。一浪後、東京の大学に進学し、広告会社である博報堂に入社しました。入社以来ずっと東京本社に勤務していましたが、2008年4月に九州支社長を拝命し32年ぶりの福岡生活を送っています。現在、博報堂にも10名弱の大濠OBがいますが、マスコミ関係でも多くのOBが活躍されています。08年に福岡に戻る際には、在京のテレビ局・新聞社・広告・出版関係などマスコミ業界で活躍している大濠の後輩たちが声を掛け合っで送別会を催してくれました。初めて会う後輩もいましたが、元大濠健児の熱い気持ちに触れて感謝感激でした。

### 【高校時代の思い出】

入学以来3年間、クラスメイトはほぼ同じ顔ぶれで、担任も山本長三先生でした。先生からは「10代の苦労は20代に実る。20代の苦労は30代に実る。いくつになっても努力を怠るな。」と薫陶を受けました。その

言葉は、卒業してからも社会に出てからもいろんな局面で心の糧となっています。国語の浅田先生など優しさで厳しさを溢れる恩師の「愛の鞭」も忘れられません。せっかく早・夕の補習でも鍛えて頂いたのに、山や坂を越えて自転車通学していたためか、頭よりも足腰が強くなってしまいました。今年は、九州新幹線が全線開業しますが、高校2年生の1975年3月に大きなトピックスがありました。新幹線によって東京と博多が約7時間（現在は5時間弱）で結ばれたのです。我々は、開業直後に関東（日光・東京都内・富士山）と関西（京都・大阪・奈良）を一挙に見て廻る欲張りな修学旅行を経験させてもらいました。首都圏と九州を結ぶ大動脈の完成という当時のエポックな出来事を、いち早く実体験出来たことは、いま振り返ってみても有意義で懐かしい思い出です。

### 【在校生・後輩たちに】

昨年、我々が通っていた学び舎が姿を消しました。その後に素晴らしい新校舎が竣工し、来年には男女共学もスタートします。母校の目まぐるしい発展と新たな時代への挑戦に心から熱いエールを送ります。これからも大濠健児には質実剛健・文武両道の良き校風を継承しながら、勉学にも部活にも精一杯励んで健全な精神と身体を養って欲しいと思います。勝敗や結果以上に目標に向かって自ら努力することの大切さや、仲

間の大切さ、チームワークを学んで下さい。個人的な話ですが、私は会社に入ってからラグビーを始めました。引退後に指導者資格を取り、ラグビースクールで



埼玉県中の選抜チームの監督を2年間務める。

小中学生にその楽しさを伝え、埼玉県中学生選抜チームの監督なども務めて来ました。大濠高校の精神とラグビー精神には相通じるものが多いと感じています。そんな経験から、もし母校にラグビー部があったら良いななどと勝手な夢を見たいです。大濠高校を通じて出会えた多くの方々に感謝しつつ、母校の隆盛と在校生の皆さんの明るい未来、大濠人のますますの活躍を祈念しております。

### 〈チャリティ歌舞伎〉



博多座の名士劇・出演時の様子。

博多座での福岡チャリティ歌舞伎に'09、10出演。昨年は「菅原伝授手習鑑」で滝川りや太郎役。歌舞伎独特の台詞まわしには悪戦苦闘。公演にあたって博多座勤務の大濠OB達が活躍されていた。



## 男子45年振り、男女優勝の快挙!

早稲田大剣道部主将 渡邊雄太君(54回卒)

全日本優勝に懸けた想い  
平成22年10月31日に行われた第58回全日本学生剣道優勝大会で早稲田大学男子剣道部が45年ぶりの団体優勝を飾った。そのチームの中心となって勝利へ導いたのが主将で福大大濠高剣道部OBの渡邊雄太君(第54回卒)である。そして二週間後に行われた第29回全日本女子学生剣道優勝大会でも女子剣道部が初の団体優勝し、創部以来の大快挙を成し遂げた。

渡邊君は5歳のとき、お兄さんが道場へ通うのを見て面白そうと思い剣道を始めた。試合で負けることが悔しくて「もう一回だけ、あと一回だけ試合に出て戦おう」という気持ちで剣道を続けることになった。「福大大濠では監督のもとで厳しい練習をこなし、早稲田大では自分から進んでやる自主性の大切さ学んだ」と高校、大学時代を振り返る。渡邊君の代で心がけたのは「つなぐ剣道」。「一本差でも引き分けでもいいから、最後までつなげる。そうすればどんなに強い相手でも勝機は見えます。」と話す。その先には優勝が待っていた。

### 渡邊君より懸けた想いをつづつてもらった

私が早稲田大学へ入学し、幼いころからの夢であった全国優勝を果たすまでの過程には様々な困難がありました。

私が大学へ入学してまだ間もないころ、剣道部の先輩方はとても意志が強く、そして素晴らしい先輩方ばかりでした。しかし、私が見てきた三年間で上位入賞を果たしたのはわずかに一回。辛く厳しい稽古を共に乗り越えてきた剣道部の力を結集しても全国にはあと一歩届きませんでした。

そして、私にとってラストチャンスとなる大学四年目を迎えるにいたりました。私はとにかく一歩として、そしてなにより主将としての重責を果たす為に稽古に一切の妥協を許すことなく毎日の稽古に励みました。

やらされる稽古ではなく、自ら進んでやる稽古を乗り越えたらに繰り返しました。こうした辛い稽古を乗り越えた私たちは部員がひとつになることができ、

全員の力で念願の早稲田大学45年ぶりの全日本優勝を掴み取ることができました。

夢にまでみた日本一になったのは本当に嬉しくも思えましたし、何より先輩方から長年伝統として受け継がれてきた早稲田の伝統ある、「正しく力強い剣道で勝つ」こと。また、他校の模範となるような規律正しい態度や姿勢に込めることができ、安堵感もありました。そして、やはり一番の勝因は、夢をあきらめなかったこと、だと思います。

私のような者が日本一になったのは、最後まで夢を追い続け、辛く苦しいときも歯を食いしばって乗り越えてきた精神力にあつたのではないかと思います。

そして、この大学生活で学んだ大切なことを次は社会に活かす、立派な社会人として、また、いち大濠人として頑張っていきたいと思っています。



### 新体育館でバドミントン部OB会「濠羽会」が現役部員との交流戦

濠羽会会長 藤本俊史氏(20回卒)

平成22年9月25日、バドミントン部OB会「濠羽会」のメンバーが完成した新校舎体育館を訪れた。

昭和45年、創部時に旧南校舎と自転車置き場のスペースで羽根を打っていた頃のことから瞬間を過ぎたが、まさに隔世の感である。この新体育館で現役部員との交流戦を行い、OB全勝とまだまだ闘魂衰えずという戦績であったが、反面現役部員に更なる奮起を望まねばならない。部員のこれからの活躍にも大きな意味ある交流戦となった。ついで新校舎の見学を行ったあと、大名の居酒屋で総会及び懇親会を催し、OB会としてできる限りの部支援を行うことを確認し、最後は陣を組んでの校歌斉唱で充実した会を終えた。

「平成23年濠羽会は10周年を迎える。」  
昨年末には、20回、21回、22回卒の数名のOBが部員たちにシャトルコックを寄贈した。テッペンとるの



に場所や道具の良し悪しは関係ないが、少しでもお役に立てればとの思いからのプレゼントであった。

### 30回卒「大濠人」邦楽会を主催

住吉神社式年遷宮大祭記念「えにしの唄会」

福大大濠高30回卒で重要無形文化財総合指定保持者、金春流太鼓方の吉谷潔氏、観世流シテ方の森本哲郎氏は11月13日(土)博多区住吉の住吉神社能楽堂で「えにしの唄会」一能楽の縁と琉球民謡の絆を開催した。今回はこれまでになかった珍しい共演企画となっていた。琉球民謡の第一人者大城美佐子氏との共演です。芸歴53年を迎え現在琉球民謡の伝承と後進の育成に公演で全国各地を巡り、海外の公演も精力的に活動している方だ。また、吉谷、森本両氏も第一戦のプロとして、能楽協会の九州支部員として、地元福岡を中心に国内外公演を、そして、沖縄での能楽の指導育成で大城氏と出会い今回の共演が実現した。



森本哲郎氏



吉谷 潔氏



琉球民謡 大城美佐子氏

### おめでとう!! 功労賞&ご苦労さま!! 今春勇退

筑紫文学園高校駅伝部監督 河村邦彦氏(5回卒)

### 高校女子駅伝一筋、多感な思春期の女子部員を育む...

永らく高校駅伝競技の発展と振興に多大なる貢献をされたこと、また、今春、高校女子駅伝強豪校の筑紫文学園監督を勇退することになり、その功績に対して1月27日(木)第56回平成22年度西日本スポーツ賞 功労賞が授与された。同監督は「伝統ある受賞を期に、これからの人生も駅伝・陸上競技界の発展に微力を尽くしたい」と受賞者代表でお礼を述べた。



# OB 活躍して います!!

## OB COMMENT

(順不同・敬称略)  
同窓会で確認出来た方のみ掲載しています。

政治の世界に  
大濠パワー発揮!

### 衆議院議員



国土交通大臣政務官・  
衆議院議員(兵庫6区)  
**市村浩一郎**  
(30回卒)  
日本を元気に、おもしろくするべく、全力を尽くしている毎日です。

### 春日市長



**井上 澄和**  
(17回卒)  
住みやすさNo.1の春日市。「市民と共に創る見える市政」の住み続けたい街No.1を大濠魂でめざします。

### 福岡県議



**井上 順吾**  
(17回卒)  
おかげさまで議員生活6年目を向かえ、三期目の挑戦をさせていただきます。



**新村 雅彦**  
(18回卒)  
大濠出身の親子鷹、息子・まさる(博多区)もよろしくお願ひいたします。



**新開 昌彦**  
(23回卒)  
大濠人らしく4期目に挑戦します。



**佐々木 徹**  
(23回卒)  
大濠魂で今春3期目に挑戦します!よろしくお願ひします。



**吉松 源昭**  
(34回卒)  
大濠で学んだ「質実剛健」を体現し、これからも邁進致します。



**平井 一三**  
(20回卒)  
現筑紫野市議  
日本の良き文化や伝統を、次の世代に伝えていく県政を目指します。

### 福岡市議



**鬼塚 敏満**  
(8回卒)  
早いもので4期16年経過致しました。よろしくお願ひします。



**楠 正信**  
(20回卒)  
調和のとれたアジア・ナンバーワン都市づくりを大濠魂で取り組んで参ります。



**山口 剛司**  
(24回卒)  
2期8年で市民相談1万645件。現場につよしでがんばります。



**川口 浩**  
(26回卒)  
元気で活力あるまち・住み続けたいまち・愛する福岡のため働きます。

### 春日市議



**武末 哲治**  
(36回卒)  
春日市議会議員4期目の挑戦です。大濠魂を胸に全力で戦います。

“安全”で“おいしい”  
医療給食をお探しではありませんか?

九州医療食は医療給食の総合コーディネーターとして、ご契約者の立場になって、独自のプランをご提案いたします。

九州医療食株式会社  
〒812-0892 福岡市博多区東原町2丁目22番40号  
TEL. 092-483-8885 FAX. 092-483-8886  
http://www.kis-inc.co.jp

九州医療食 監製  
Kyushu Iryo Shoku

6回卒 川邊義隆

私たちは、変革を遂げる時代と歩調を合わせながら  
新しいコミュニケーションの創造を目指します。

福博綜合印刷株式会社  
代表取締役会長 原 維宏 (2回卒)

本社 / 福岡市博多区堅粕3丁目16番36号 TEL.092-451-2989



太宰府市議



福廣 和美 (15回卒)  
住んでみて、来てみて良かった故郷づくりを目指し7期目に挑戦します

筑紫野市議



横尾 秋洋 (11回卒)  
議会の活性化と二元代表制の確立を目指し4期目に挑戦します

古賀市議



松島 岩太 (33回卒)  
変える勇気と変えない勇気を持ち、与する事無き孤高の精神を持って、次期4期目も保守の政治家として頑張ります

大野城市議



古賀 健一 (15回卒)  
みんなのため 未来のため！私の志です。率先行動いたします

鳥栖市議



田中 稔 (19回卒)  
鳥栖市は佐賀県で唯一、人口が増え続けている市です。新幹線新鳥栖駅には重粒子線治療施設が着工されました。福大太宰高校のように、ますます発展する鳥栖市に注目です。

町長



中嶋 裕史 (14回卒)  
須恵町長  
教育を基盤に据えた「教育の為の社会づくり」町づくりは人づくり



武末 茂喜 (18回卒)  
那珂川町長  
本町は、「ずっと、住んでよかった。」と考える、町づくりに取り組んでいます



長崎 武利 (7回卒)  
現新宮町議長  
新宮町町議5期20年、議長歴2期8年、やります。故郷づくり。町長選にチャレンジ。

町議



吉住 龍太郎 (7回卒)  
志免町  
3期目です。志免町の交通問題解消に全力を尽くします。応援よろしくお願ひします

藤石 豊 (16回卒)



須恵町  
都市圏市町と連携の取れたコミュニティを核とした町づくりの推進

荒牧 泰範 (28回卒)



篠栗町  
5期目も信念を持って努力いたしますので宜しくお願いします

市政へ挑戦



日下部 晃志 (42回卒)  
博多区  
42回生のくさかべ晃志です。「大濠魂」で政治を善くします！



川上 陽平 (43回卒)  
南区  
大濠高校剣道部で、厳しい練習に耐え抜いた精神力で頑張ります



新村 優 (46回卒)  
博多区  
昨日より今日。今日より明日。未来に向けて先輩方、どうかご指導ください



松本 一郎 (48回卒)  
早良区  
早良区から挑戦いたします。行政書士としての経験を活かして、元気な福岡市をつくるために頑張つて参ります

古書・古美術・茶道具、買取

— (各) 公共機関鑑定評価指定店 —

天導書房

郡田 紀久雄 (7回卒)

〒810-0074 福岡市中央区大手門3-10-26  
TEL:092-731-0516



青果卸売



since 1924

福岡市中央卸売市場 青果仲卸

株式会社マルゴ

取締役会長 後藤能孝 (7回卒)

## 名将が語る指導法の秘訣

鶴我隆博氏(26回卒)

1月に行われた「西日本スポーツクラシック第27回全九州中学生大会」で姪浜中男子バスケットボール部(姪浜HORIZON)を優勝に導いた鶴我先生。九州・中国・四国から男子48チーム、女子48チームの計96チームが集う同大会での見事な快挙だった。

鶴我先生は、10歳のころバスケットボールに出会った。当時は、小学生を対象にしたクラブチームがなかったため、地元の中学校のバスケット部が行っている練習に参加させてもらっていた。

地元の中学を卒業し、大濠高校への進学が決まった鶴我先生はバスケット部へ入部。苦しい練習、先輩後輩の上下関係の厳しさ、それらに加えて勉強にも力を入れなければならなかった高校時代を「人生で95%の苦勞は高校1年生で経験した」と振り返った。このとき、これからの人生で大きな影響を受けることになる田中国明先生と出会う。

その後、鶴我先生は大阪体育大学へ入学するとともに、バスケット部に入部したのだが、周囲の部員たちは次から次へと退部していった。あまりの厳しさに耐え切れなかったようだ。しかし、鶴我先生にとって大学バスケットは厳しいというよりも楽しかったらしく、大学の頃に戻りたい、と語った。

教育実習で再び母校である大濠を訪れたとき、鶴我先生に転機がやってくる。恩師の田中先生に勧められ、教師としてバスケットを教える側に立つことを決心した。それから、大濠高校で田中先生のアシスタントも兼ねてコーチとして鶴我先生の指導者生活が始まる。そしてコーチ3年目、大濠バスケット部がウィンターカップで優勝を果たした。この貴重な経験により、鶴我先生は中学教師となってバスケットを指導する立場になった。

赴任した城西中、花畑中、百道中、姪浜中で数々の功績を残してきた鶴我先生。ところが、



「『栄光』や『チームの強弱』よりも重要なことは、『バスケットを通じた人づくり』であり、『勝つことはバスケットの一部である』という持論を口にしてきた。九州中学生大会が閉幕して数週間後に開催された新人戦の県大会において

も優勝した姪浜HORIZON。鶴我先生率いる姪浜HORIZONは3月に開かれる九州大会への出場権をすでに獲得している。

最後に鶴我先生は現役の大濠生たちに、「洗練された大濠スピリットの復活を望みます」というメッセージを残してくれた。



## 日本代表を育成。「出会い」が生んだ指導者への転身

泉将弘氏(38回卒)

「オグシオ」といえば、バドミントン日本代表の小椋久美子選手と潮田玲子選手による女子ダブルスペアで、2008年に開かれた北京五輪では5位に入賞した。その潮田選手を小・中学校時代、クラブチームで指導し続けてきたのが泉さんだ。



潮田選手は小学生のとき、地元のクラブチーム「京都クラブ」に入部し、それから中学3年生まで所属していた。小学3年から中学3年生までを対象とした京都クラブは、全国レベルの名門クラブで数々の大会において素晴らしい結果を残している。やはり、全国レベルの練習は厳しく、週4日、1日3時間程度、選手たちは必死になって汗を流す。当時から、スター性を持っていた潮田選手。泉さん

が教えたことは次から次へと吸収して自分のモノにしていく才能を持っていた。「努力しているような感じが全く見られなかった。もしかしたら、影で相当な努力をしていたのかもしれない」と泉さんは語る。中学3年の春の選抜では、全国3位という成績を収めた。しかし、喜びよりも悔しさの方が心に残り、勝利に対する執着心は人一倍強かったようだ。その後の夏の中学総体では「全国3位の悔しさ」がバネとなったのか、見事に全国優勝を果たしている。

泉さんは10歳の頃、京都クラブがちょうど創部されたことがきっかけでバドミントンを始めた。中学3年まで京都クラブでプレーを続けた後に大濠高校へ特待生として入学する。「3年間バドミントン部で頑張ったことが大きな自信につながった」と泉さんは大濠高校時代を振り返った。特に山の中を走らされた熊本での合宿が苦しかったという。さらに、高校2年のインターハイ予選で初めて優勝し、全国大会出場を決めたとき、「初めて勝って泣いた」というエピソードも明かしてくれた。大濠高校卒業後、泉さんは特待生で九産大に進学し、ここでも4年間バドミントンに打ち込んだ。

大学を卒業して、東京で3年間仕事をしつつ、泉さんは現役でバドミントンを続けていた。それから、地元の福岡に戻ってきてからも現役で続けようとしたが、アキレス腱を負傷してしまい現役続行が困難になる。そこで、お世話になった京都クラブのコーチとして指導する側に立つことを決意した。

「バドミントンを通して多くの人と出会うことができる。これはとても大切なこと。大濠生の皆さんも学生時代に出会った人との関わりを大切にしたい」と泉さんは自身にとってのバドミントンの重要性に加えて大濠生にメッセージを残してくれた。





## 関西支部

第30回記念の総会懇親会を開催しました。

母校福大大濠高が初の甲子園大会に出場。歓びに沸く関西在住の同窓生「大濠人」もスタンドで熱烈応援してくれた。その折、これからも出場してくる筈だ。関西在住の「大濠人」が集う応援体制も準備しようと急ぎ「関西支部」が創設された。30回ということでの創設に尽力された、当時大阪在住だった南里英治氏（7回卒）、当時同窓会会長だった村上正人氏（1回卒）も博多から駆けつけた。これまで春夏5回の応援を関西支部は同窓会本部と協力して大応援団で応援してくれた。以来30回を迎えた記念の総会懇親会に、永らく母校バスケットボール部を率いて数々の功績を挙げられた田中国明元監督（現顧問）が講演され、また、同窓会本部から川邊義隆（5回卒）会長、関西在住のOB達、野球2名、剣道4名、バスケット3名、バレー1名、駅伝1名も出席され盛大な記念会が納められた。また、母校硬式野球部で主将を務め関西の龍谷大野球部に在籍中の古本武尊君（57回卒）が10月12日関西六大学優勝にチーム4番バッターとして素晴らしい活躍で貢献した同君も

出席された。



## 硬式野球部OB会関西支部発足

硬式野球部OB会は福岡に本部があり、東京に関東支部があるが、このたび関西支部発足の運びとなった。平成22年12月4日（日）、大阪曾根崎の「逢坂北新地店」において、福岡より前監督の中野先生（23回卒）、同窓会関西支部より小嶋久夫支部長（10回卒）をお招きして、関西在住のOB18名が集まった。中野先生は挨拶の中で、「近い将来、甲子園に出場する予感がする」と力強く語られた。会では支部会長に八木隆史さん（24回生）顧問に茶元新一さん（12回生）に就任いただいた。関西支部活動の主旨は以下の3点であり、会員相互の理解を深め

た。「甲子園へのバックアップ。野球部関西遠征の激励。関西地区のOB選手への応援。」以上3点。青春時代を懐かしむとともに、現役の大学生を激励し、会は盛会のうちに終りを迎え、最後は大学1年生3人の音頭による校歌斉唱で締めくくった。



## 同窓会本部

平成22年度同窓会本部の第57回総会懇親会 新母校で開催

5月15日（土）17時30分より新学期（4月）供用開始した母校新校舎・新体育館の見学も兼ねる開催となった。眼下に絶景大濠公園を眺望できる6階視聴覚室で審議され全議案は承認された。新会長に川邊義隆氏（6回卒）が就任した。また、懇親会では母校家宇治校長始

め教職員と旧教職員。福大同窓会（社）有信会の川畑理事長、昨春から福大附属となった若葉高校（旧九州女子高）の同窓会若葉会から会長代理で橋下理事並びに同窓生「大濠人」300名余が集い、男子校の元気印の懇親が新食堂で和やかに行われた。

4期8年務められた第6代山下矩生氏（5回卒）から第7代新会長川邊義隆氏へバトンタッチされた。山下前会長大変ご苦労さまでした。これからは顧問としてご指導をよろしくお願いいたします。また、川邊新会長ご就任おめでとうございます。この厳しい社会・政治経済のもと伝統ある男子校の母校も共学となります。その流れを視野にいれつつ更なる強固な組織作りにご指導いただきますよう同窓生「大濠人」一同期待して居ります。



## 総会懇親会開催の報告

何れの会にも川邊新会長が出席  
 ・ 関東支部は10月16日（土）午後6時30分から第28回を迎え、盛大に開催された。  
 ・ 東海支部は11月20日（土）午後6時30分からポンドール錦で開催。  
 ・ 家族も出席したアットホームな総会でした。  
 ・ 筑紫支部は5月28日（金）午後7時からロイヤルチェスター大野城で開催。  
 ・ 第15回を迎え50名余が集い新母校の様子など話題にして楽しい集いとなった。  
 ・ つつじ会は（久留米筑後佐賀地区）は9月25日（土）午後6時から新母校見学を兼ねて新食堂で開催された。  
 ・ 恒例の「マツタケ」入り景品を大人の「大濠人」が真剣に福引じゃんけん大会で競い合いつつ、楽しく30秒スピーチで盛り上がった。  
 ・ 鶴友会は8月6日（金）午後6時30分から中央区天神の福岡国際ホールで開催。  
 ・ 今年も校歌斉唱はコンパニオンの女子共ども肩を組んでの熱唱だった。

皆様に信頼され続ける企業をめざします



〈電気設備工事・設計施工〉

株式会社 島田電気商会

代表取締役会長 島田 隆 (10回卒)  
 代表取締役社長 島田 茂 (31回卒)

本社 福岡市中央区薬院2丁目19番27号  
 電話 092(761)7035 FAX 092(761)4792  
 営業所 長崎・北九州

知覧スピーチコンテストで  
最優秀賞！  
おめでとう！澤木公輔君(3年)



最優秀賞の澤木君が同窓会室を訪問

第21回目となる「平和へのメッセージfrom知覧」スピーチコンテスト高校の部で澤木君が見事最優秀賞に選ばれた。同君は新聞部員として活動していたが、戦争ドキュメンタリー映画「花と兵隊」を観て戦争の惨さを知った。その後、制作した母校OBの松林要樹監督(45回卒)を訪ね取材して「戦争の実体」を直に訊き、「平和は願うものではない」というテーマで持ち時間7分以内の原稿に纏めた。今年も全国の高校から応募があり、一次原稿審査、二次カセットテープ審査を経て本選知覧会場に北は北海道全道一位の生徒など4名が出場した。同君はスピーチで「ただ知るだけでなく積極的に戦争を知り、考え行動することが自分たちに求められている」と訴えた。なお、昨年の第20回コンテストでは全国14都道府県から、2、177作品の応募があった。

おめでとう！すばらしい成果を挙げてくれた！ありがとう！

一足先に大学生！?

FUステップアップセミナー



大濠生から既に進路が

決まっているのにどうして大学まで赴いて勉強しなければならぬのか、といった表情を浮かべる大濠生まで様々だった。

昨春初めて導入された本セミナーは、1月中旬から3月中旬にかけて実施された。対象はすでに福岡大学に専願で推薦入学が決定した大濠生だ。自己発見セミナー、ジェントルマンシップ講習、コミュニケーション力養成講座、ワークショップといったプログラムを通して、高校では学習しないような「自分自身を高める」という分野に重点を置いた本セミナーの前半。それらに加え、各学部学科の先輩方から大学生活のお話を聞いたり、大学内の施設を案内してもらおう「キャンパスツアー」も行われた。一方で後半は、国語と英語の授業が続く。国語では表現力向上のため小論文を制作。先生のアドバイスを受け、文章の表現力や字数の調整を徹底的に鍛えた。英語ではTOEIC対策や英会話によるコミュニケーション

シオン学習など内容の濃い授業が展開された。

約2ヵ月

の本セミナーを終えた大濠生たちには「修了証」が手渡された。



高校総合学習会  
薬物乱用などについて

脳にすり込まれ、触まれて…  
人生を狂わす薬物の恐怖！



1月29日(土)午前9時30分からアリーナ講堂で、高校1・2年生全員を対象に「薬物乱用」「福岡県暴力団排除条例」について総合学習が行われた。講師は県警中央警察署少年課少年係長の宮内秀樹氏(39回卒)が「薬物の現況と魔力性、怖さ」について映像をもとに解説し、後輩生徒たちに解りやすく丁寧に諭された。また、日頃一般市民には判りにくい「暴力団排除条例、同組織の現況や非社会性、怖さ」などについて、同署組織犯罪対策1課係長の高橋恵子氏が映像をもとに解りやすく丁寧に解説し諭された。

不自然な誘いなどは勇氣を持ってきっぱりと断ること。また、自分だけで判断せず両親、先生、友人、そしてすぐに警察に相談して欲しい」と諭された。そして、同窓生「大濠人」の皆さんも同窓会ホームページに常設掲載中の「同窓会からお願いです！『飲酒&酒気帯び運転』はダメです」。覚えい刑薬物とともに、人生を狂わすことになる行為をとらないようルールを堅守してください。

高校新聞の甲子園で  
優秀賞

おめでとう！新聞部

しばらく開店休業状態だった新聞部は顧問の相良浩文(17回卒)、林 一夫両先生ご指導のもとに再出発。その福大 大濠高は制作した4刷(Vol.1 63頁166)を「高校新聞の甲子園」といわれる第40回全国高校新聞コンクール(大東文化大学主催、朝日新聞など後援)に応募。その審査結果が今年1月18日に発表され、全国から応募した138校中から優秀賞に10校が決まり、その一角を



美術工芸品調製専門店

**足立商会** 有限会社

代表取締役 足立 隆 (19回卒)

福岡市博多区上呉服町13番32-1  
TEL: 812-0036 TEL-FAX: (092)283-2855

百田工務店

検索

新築からリフォームまで暮らしをサポート

**株式会社 百田工務店**

代表取締役社長 百田 篤 (10回卒)

〒813-0034  
(本社)福岡市東区多の津1丁目4番5号  
「流通センターときめき通り沿い」  
E-mail: info@momota.co.jp  
http://www.momota.co.jp 0120-720-333



おめでとう！ありがとう！  
玉竜旗優勝

大濠は第83回玉竜旗男子の参加校572チームの頂点に輝いた。

九州同士の決勝戦で九州学院（熊本）大将東郷君に大濠大将竹ノ内君が延長で「コテ」を決めて6年ぶり5回目の優勝となった。この春、竣工した母校新体育館2階の新剣道場に優勝旗と優勝杯が飾られ新たな歴史を刻むこととなった。よく頑張ってくれた！ありがとう！



祝勝会で感動を再び味わった。

9月1日に博多区キヤナルシティ・グラウンドハイヤットで母校主催の祝勝会が開催され、6年振り5度目の玉竜旗優勝を関係者300名で大いに祝った。

また、部主催の祝勝会も9月11日 中央区渡辺

通り・セントラルホテル福岡で盛大に開催された。



福大衛藤学長祝辞



選手達のガッツポーズ



優勝のカップ

黒木監督と保護者の皆さん

全国高校弓道選抜大会に出場

健闘を祈る！ 弓道部



第29回全国高等学校弓道選抜大会の県代表選考会が昨年12月23日(木)中央区大濠の県武道場で開催され福大大濠高が見事県代表となり全国大会に出場となった。当日は母校を含む5校（祐誠高、修猷館高、九州産業高、青豊高（旧築上中部高））によるリーグ戦が行われ、福大大濠高は九州産業高

と総的中数48射33中と3勝1敗の同率首位となり、選考の結果県代表に選ばれた。そして、3月18日(金)から20日(日)に鹿児島市で開催される同選抜大会に全国から52校が出場する。



選手達のガッツポーズ

優勝のカップ

バレエ部 祝勝会



大賀先生（顧問）の試合経過報告

「美ら島沖縄総体2010」男子バレエボール競技大会で宇部商高（山口）に3-2で本当に惜しくも敗れ準優勝となった福大大濠チームの祝勝会が4日午後7時から新学食堂で行われた。決勝戦にふさわしいフルセットの白熱した熱戦が行われた。よく粘ってくれた！  
素晴らしい総体の歴史に刻み込まれる名勝負だった。本当によく頑張ってくれた。ありがとう！ なお、有田主将、

アタッカー山田選手の両人は全日本高校のベスト6に、優秀選手賞に緒方選手が共に選出された。おめでとう！

平成22年度インターハイ 200m 陸上部 竹下 裕希君(3年)



1位と0.03秒差の竹下君

昨夏に行われた全国高校総体（沖縄県総合運動公園陸上競技場）の陸上競技男子個人戦200m競走で竹下選手が準優勝に輝いた。そのタイムは優勝した千葉県立千葉東高校三原君に100分の3秒及ばぬ僅少差の21秒38、逆風0.5mの素晴らしいものだった。同100mでは4位と入賞、だがその走りは少々脚の不具合をおしてのものだったそうだが、その気力気迫は「大濠魂」を示したものだ。その後の国体では団体少年Aで3位と福岡県チームに大貢献した。そして、今春は早稲田大スポーツ科学学部に進

学し陸上競技400m走に取組むようだ。近い将来は全日本学生代表候補入りもと伝わってくる。ご健闘を祈る

大濠初 囲碁で全国大会へ 高校生棋士 宮本 翼君(1年)



昨年5月の第25回福岡県高等学校総合文化祭に男子個人戦で見事優勝し、県代表として同11月13・14日の九州大会（鹿児島市・ピアントホテル）に出場。  
長崎県代表・北陽台高の東郷君（2年）に中盤の劣勢を粘りで挽回し「中押し勝ち」で5回戦を勝ち抜きまたも快挙の優勝に輝いた。  
そして、今年3月19、20日に大阪商業大学で開催される全国高等学校文化連盟主催の第34回全国高校総合文化祭に福岡県代表として出場権を手にした。ご健闘を祈る！  
宮本君は「兄が読んでいた漫画本『ヒカルの碁』をなんとなくくっ

ていたら面白くなり小学5年生から囲碁教室に向くようになり、以来中学時代はいろんな囲碁大会に参加しつつ次第に病みつきになった」と話す。また、現在はインターネット回線を利用して韓国や中国の棋士と対戦しているそうだ。

初の附属姉妹校が共演

そして初の合同練習も： 1月15日中央区天神のアクロス福岡シンホニールで開催された第44回プラスフェスティバル「New Year チャリティーコンサート」に福大附属の若葉高と大濠高吹奏楽部が初共演し見事なハーモニーの調べを会場に響かせた。  
大濠高森園健一顧問（宝島・ヘビーローテーション）、若葉高出口貴浩顧問（美女と野獣）が指揮。その日出場前の初の合同練習が中央区荒戸の附属若葉高の同部練習場で行われた。両校の部員達は若葉高顧問の出口貴浩先生の見事なタクト捌きのもと作曲者の意図を感じつつ次第に調子を整えた。（今回は主催の九州吹奏楽連盟、福岡同連盟の創立55周年記念のコンサートだった。）



# 特集2 「聳える頂」をめざして

## 校舎紹介

新校舎はご覧になりましたか。  
今回は一部ですが、その施設をご紹介します。



初代井口校長胸像



西門



スカイチューブ



音楽教室



生徒ホール



アリーナ (体育館)



図書室



食堂



柔道場



強く清楚で品位のある女子、いわば現代版やまとなどしこの育成を目指していきます。



中学入試の様子

2011年(平成23年)4月からは創立以来の歴史と伝統への誇りをもって本校の教育を男子のみならず女子に対しても広げていきたいという思いから中学校で女子の入学を、さらに2012年(平成24年)4月からは高校でも女子の入学を開始します。



### 男女共学スタート



# 新体育館で 招待試合開催!



## バレーボール部編

福岡大学創立75周年、母校の創立60周年を迎えた記念事業として建設された、新校舎・新体育館の竣工を記念しバレーボール3チームを迎えた招待試合が新体育館3Fアリーナで7月3日(土)午前9時15分から開催された。実業団チームのパナソニックパワースーツ(プレミアリーグ)、天皇杯、黒鷲旗杯を制覇した3冠チーム)、佐賀県立佐賀商業高校チーム(佐賀県高校優勝・10高校総体出場)、福岡大学チーム(九州リーグ優勝、西日本大会準優勝)が来校された。

試合審判は中西敬昭先生(本校24回卒、筑紫丘高校教諭、福岡県審判委員長・A級ライセンス)と須藤義宏先生(板付中学教諭、A級ライセンス)両氏が務めていただいた。

司会進行は母校放送委員会の放送部長の東志勇、副部長の江上洋介、迫田英論、安田磨生の各1年生らが担当した。

母校の卒業生がパナソニックに2名谷村孝(48回卒)、白澤健児(50回卒)両氏。福岡大学に大島貴弘(54回卒)、岸本裕太郎(54回卒)、竹下竜介(55回卒)、内田匡紀(55回卒)、中村亮祐(55回卒)、益永倫太郎(56回卒)、栢原尚己(56回卒)、草場勝敏(57回卒)、尾上成樹(57回卒)、穴井稔也(57回卒)の皆さんが在部中。

家宇治輝太郎校長が参加して頂いたご来校の皆さんにお礼や観覧応援の在校1年生全員に向けて「この競技はボールを拾う人、つなぐ人、決める人。誰一人でも欠けても、バレーボールは成り立たない。選手全員が協力し合って支えていくスポーツ。この招待試合を大いに盛り上げていただき、そして大いに楽しんでいただきたい」と主催者挨拶された。

パナソニックの南部正司監督は試合前の挨拶で「本校OB故・南将之氏(7回卒・

バレーボール部)が全日本代表監督時代に選手として大変お世話になり、現在こうしてバレー界で務めさせていたでいるのも故・南先輩のお陰です。その縁と現チームに本校OBの2名の選手が活躍してくれている関係から今回の参加を決めさせていただいた」と本校との縁を述べられた。また、今回選手として参加した谷村孝氏は試合終了後の挨拶で「OBの谷村です。母校で学びチームで精進した努力で現在がある。君たちも希望に向かって大いにがんばってください」と懐かしそうに語った。



## 柔道部編

文化祭も開催されていた9月11日(土)午前11時から新柔道場で落成記念柔道大会が行われた。会場に14校の柔道着姿の選手たちや監督、保護者や柔道ファンが道場にあふれ、熱戦が展開された。

昨年4月落成した新柔道場に九州強豪13高校の柔道部を招き記念柔道大会が開催された。長崎、熊本、鹿児島、福岡の各地区から参加された。各校とも選手は1・2年生で構成しており、団体戦で勝ち抜いた3位までのチームが表彰された。柔道愛好家の皆さんも同日同時に開催されていた大濠中高の文化祭や新校舎新体育館の見学も兼ねて来校された。



## バスケットボール部編

福岡大学創立75周年、母校の創立60周年記念事業として建設された、新校舎・新体育館の竣工を記念し5チームを迎えた招待試合が新体育館3Fアリーナで7月11日(日)午前9時から開催された。



試合は先ず母校バスケット部OBがヘッドコーチを務める市立姪浜中学対市立吉塚中学、次に九州の実業団チームの雄である九州電力(株)対母校福大附属大濠高、ファイナルは早稲田大学対慶応義塾大学が行われた。各試合では、中学両チームは日頃の練習の成果を発揮してきびきびしたプレーでコート駆けまわっていた。母校大濠トロロージャーズは実業団トップチームを脅かすプレーも見られたが、実力の差をしつかりと実感した内容だった。また、歴史と伝統を誇る大学両校の対戦は先ず早大OB酒井孝太郎氏のリードで応援歌、早大「第六 紺碧の空」・慶大「若き血」を演舞し、次にエールを応援席のOBともども声高らかに発声してから試合開始となった。流石日本の私大を代表すると評されている両チームだった。そして、中学2チーム始め他の3チームには母校バスケットOBの優秀な「大濠人」達が所属していた。

なお、各試合の幕間では、男子校の母校応援指導部・チアボーイズ「クッキーズ」のきびきびした演技で張りつめていた緊張感を解消してくれた。来場の皆さんも一息つき拍手を贈った。

# 文武両道をバックアップ

インターハイ、ウインターカップ  
春高、都大路、そして甲子園へ

## 同窓会特別会員による母校サポートシステム 年会費:一口 10,000円

文武双方の後輩「大濠生」へ支援を継続するため制度の充実をさらに図って行こうと会員1000名を目標に増やして参ります。新会員を募集していますので同窓生「大濠人」の皆さまにご入会いただき温かいご支援とご協力をよろしくお願い致します。年一回、懇親会、報告(活動・会計)会を行います。会費は年度初めに納入下さい。納入方法は同窓会室まで、問い合わせ下さい。

TEL 092-714-1681 FAX 092-406-8301

平成13年より平成22年まで  
(各部)56名1,700万円の支援を行いました。

### 応援の各部

駅伝部 ……………18名	バレー部 ……………3名
バスケット部 ……18名	野球部 ……………4名
柔道部 ……………4名	剣道部 ……………6名
バドミントン部 ……3名	計56名

## 「同窓会費」納入をお願いします。年会費(年一人)1,000円

お届けした「大濠人」45号は年会費より作成いたしました。

総制作費95万円です。この45号は5,000部作成、そのうち3,500部は会員へ送付いたしました。

次号は3万人の大濠人の皆様へお届けする予定です。

同窓会費は卒業時の入会金と毎年の会費1,000円で運営しています。学校に事務局を設置し事務員を置いています。母校の体育部、文化部の応援援助、同窓会の「各地支部」「職域支部」と交流をしています。年に一度「総会、懇親会」も開催しています。同窓会「ホームページ」に最新の会員情報を掲載しています。「携帯モバイル」のホームページでも情報を発信中です。「会報」も作って配布しています。一年後からは送付先が分かった方には毎年必ずお送り致します。※同封の郵便振替用紙にてお願いします。

# OHORI HIGHSCHOOL O.B NETWORK

福岡大学附属大濠高等学校  
同窓会ホームページ

Since1953

●最新情報を随時更新しています。

<http://www.ohsa.jp/> 大濠同窓会

検索

福岡市中央区六本松1丁目12-1 福岡大学附属大濠高等学校内 TEL092(714)1681

### 同窓会ホームページの情報

同級生の近況ニュースなど情報不足でホームページがまだまだ万全とはいきませんが、国内外の各階層で大濠魂を發揮して活躍中の同級生の皆さんから、校友が待ってましたと喜ぶ役立つ情報や、これほど思われる近況を掲示板に投稿していただきたいと思えます。

着信メールの「コメント」を紹介します。

武田 修二さん (6回卒)

1973年カナダ、バンクーバーに移住現地で旅行会社自営業  
(HP = URL : www.kenttravel.net)

阿美 明成さん (12回卒)

山口の田舎から、家族と離れ一人で大濠高校へ入学し、田舎者の私をやさしく接してくれた学友たちが今でも、当時のことが思い浮かびます。先日、家内の兄の見舞いで、どうしても母校を見たくて参りました。想像以上の校舎でびっくりし、感動しました。今後の母校の発展と、躍進を山口より祈っています。大濠高校万歳!!

上野 一哉さん (19回卒)

防衛大学校、航空自衛官を退職桜美林大学に再就職しました。

羽野 博晴さん (21回卒)

学校への寄付はどうしたらよいですか? 前の会社で転勤、転勤変更の届が出ていませんでした。今は福岡に戻って仕事をしています。

高橋 秀貴さん (24回卒)

久しぶりにHP覗いたら余りの変化にビックリ。家宇治先生が担任だったのですが、校長になられているのには、もっとビックリ。近いうちに遊びに行きたいと考えております。

山本 靖夫さん (26回卒)

転勤多かつたのですが、今度は大阪に落ち着きそうです。会費未払金があれば教えてください。

松林 克明さん (28回卒)

舞台照明の仕事をしています。

酒田 英訓さん (29回卒)

旧姓「松尾英訓」です。宜しくお願いします。

桜井 浩二さん (33回卒)

名古屋に単身赴任中です。

宮富 孝洋さん (33回卒)

改姓しました。宮富⇓平島です。

中上 賢さん (48回卒)  
自宅住所が変更になりましたので連絡させていただけます。次回の同窓会総会を楽しみにしております。

### 新同窓会室です!

新校舎新体育館の竣工にともなって、新しく旧中学棟1階中央に新同窓会室を移転しました。事務室と会議室(30名程度)の2室を使用中です。母校のリニューアルした雄姿と人工芝新グラウンド完成後に見学かたがた、来室を歓迎します。



### 伝言板



<http://www.ohsa.jp/mb/>

同窓会携帯サイトがOpenしました。ケイタイから新着情報が見れます。どうぞご利用下さい。

### 編集後記

今回、「大濠人」がリニューアルされた。これまで新聞形式だった会報が雑誌形式になり、読みやすさも倍増したはずだ。これは同窓会が「フレッシュ感」を取り入れるという狙いのもと行なった。今、若い力が求められている!!

同窓会取材班